

2024年10月度 中部品質工学研究会 議事録

- 開催日時 2024/10/5 (土) 10:00~16:00
- 開催場所 中部品質管理協会 研修室
- 会員参加者<敬称略> S: オンサイト出席・L: オンライン出席、欠: 欠席、書: 書記、休: 休会

大見	S	牧野	S	横尾	S	城越	S	伊藤	S	舟山	S	出島	S	水田	S
山中	L	山口(展)	S	黒田	S	鈴木	S	池田	S	山口(直)	S	前田	S	北村専務	S
小西	休	中山	休	李	休	河合	休	則尾	休	杉浦	休	福田	休		

村田機械: 木村さんが参加

4. 研究会内容

1) テーマ相談 (水田)

ローラコンベヤのストレッチベルトの蛇行性の検証について、研究会で相談した。実際に行った検証結果をもとに、いろいろなアドバイスをいただいた。アドバイスをもとに弊社で共有し、今後の検証に活かす。

2) 「合宿テーマ検討 利き酒実験」(大見)

利き酒実験について具体的な方法について検討を行った。主な具体的な方法について以下の内容が決まった。

- 信号因子: 日本酒種類 3水準 (パック酒、純米酒、純米吟醸)
- 日本酒の量: 各信号水準1.8リットル
- 1回あたりの利き酒量 30~40ml 試飲容器: プラスティック容器 (購入予定)
- 被験者: 11名 準備者: 4名 (大見、山口展、出島、前田)
- 評価項目: 「年齢 (60歳以上、未満)」「酒に強い/弱い」「鼻炎有無 (アレルギー性含む)」「日本酒の好き嫌い」
- 評価は2回 1回は正解の信号の日本酒を試飲
- 評価方法: 度数法 デジタルの標準SN比で評価
- 具体的なテスト方法については準備グループで別途決定する。

3) 「合宿テーマ検討 パラメータ設計の教材検討」(舟山)

パラメータ設計の教材開発の具体的な進め方について検討を行った。

- 既存教材の長所短所の調査を実施。付随して新規教材に求める重要項目を洗い出した。
再現性、L18が可能な因子数、動特性/静特性、ワイガヤ度、準備手間、実験時間
- 候補案出しを実施
鳥人間、砂時計 (実機&SIM)、ゴルフ (SIM)、コマ (SIM)、紫外線硬化樹脂、車のゼロヨン
- 今後の開発は3チームに分かれ実施することに決定。
チーム1: タグチメソッド入門内演習題材のダイキャストマシンの設計試行チーム
チーム2&3: 教材内容検討チーム
- 次回合宿にて各チームに分かれ検討を実施することに決定
チーム1は試行を行い発表
チーム2&3はワイガヤで案出しをして、その結果を発表

4) 事務局連絡 (山口直)

合宿研究会の詳細

●日程: 11/9,11/10

●場所: あいち健康の森プラザホテル

●やること

※タイムスケジュール、研究会プログラム、参加者名簿を整備: 山口

※当日朝の役割分担を決定。どこでもキャビネットにアップ: 山口

※合宿の詳細情報を細井さんに連絡: 山中

※個別宿泊予約の方、朝食を予約することを周知: 済